



# みてまな いみん あしあと 見て学ぶ 移民の足跡

## ① 行ってみよう！ウチナーンチュスポット

ハイサイ！今回から世界のウチナーンチュについて学ぶ新連載「海を越え、つながる輪—世界のウチナーンチュを知ろう—」が始まります。沖縄からの海外移民が始まって120年余り、海外で暮らす県系人は42万人に上ります。今年10月には、第7回世界のウチナーンチュ大会

が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために2022年10月に延期されました。来年の大会に向け、移民の歴史や文化、移住先の国々について一緒に学んでいきましょう！連載1回目は「県内で学べる世界のウチナーンチュスポット」を紹介します。



★施設に出かけるときは、問い合わせから行くようにしてね！



## きょうど あい 郷土への愛 たつぷり

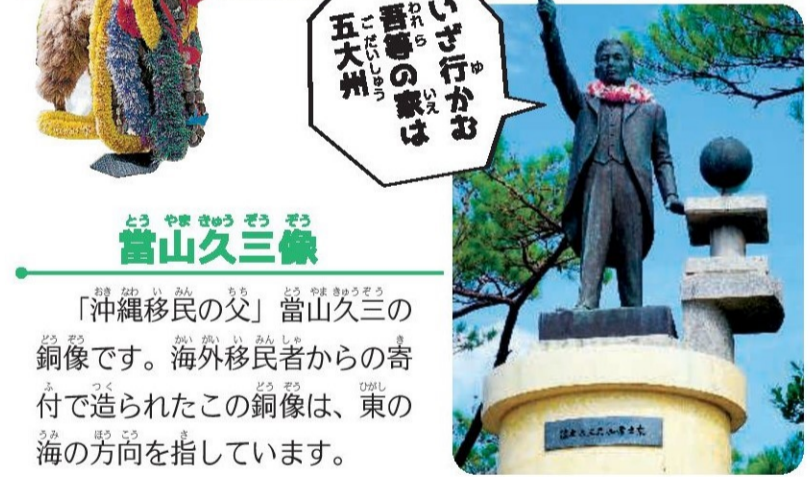
### とうやま せねん かん 當山記念館

1899年12月5日、沖縄県は初の海外移民団をハワイに送り出しました。その移民事業を主導したのが金武村(当時)出身の當山久三です。その功績をたたえ1935年、當山記念館が建てられました。県内でも数少ない戦前の鉄筋コンクリート建造物で、海外移民からの寄付金を利用し

て建設されました。現在の記念館は2016年に建設当時の姿に復元されており、丸窓などレトロモダンな姿が魅力です。館内では當山久三の功績や、町民が渡った移民国での当時の暮らしや歴史を紹介。海外から寄贈された資料も充実しており、海外で生活しているウチナーンチュの郷土への思いがたっぷり詰まった資料館です。



レトロモダンな造りが魅力的な當山記念館



五大州の移民の父は、いざ行かお

### とうやまきゅうぞうぞう 當山久三像

「沖縄移民の父」當山久三の銅像です。海外移民者からの寄付で造られたこの銅像は、東の海の方角を指しています。



開館時間 / 9:30 ~ 16:30  
休館日 / 土・日・祝日・慰霊の日  
【入場無料】  
〒904-0004 金武町金武4 (金武町役場裏)  
☎098(968)6262



## ぶた むす きずな 豚が結んだ「絆」

### うらま ぶた 海から豚がやってきた モニュメント

1948年9月27日、うるま市のホワイトビーチにアメリカから550頭の豚が届けられました。ハワイ移民が

中心となり、戦争で焼け野原となった故郷の食糧難を救おうと、募金でお金を集めて豚を購入して送ってくれたのです。この物語を次世代につなぐために、市民芸術劇場敷地内にモニュメントが設置されています。



うるま市民芸術劇場  
うるま市民芸術劇場敷地内  
【入場自由】  
うるま市字仲嶺 175



豚と船をかたどったモニュメント